

2008/01/04

生活安全・危機管理・消防・情報化社会特別委員会

民主党ヨコハマ会 山崎誠

## 横浜市の情報システムの現状について（質問内容）

### 1. C I Oを中心とする I T 化推進体制について

- 1) 新しい体制でどういう効果を上げようとしているのか。具体的な目標はどのように設定しているか。

**問題意識**：具体的なコスト削減目標、サービスレベル向上の目標設定が欲しい。情報システムに関するコスト管理が確実にいえるようにする必要がある。

- 2) 情報システム構築・改修の進め方（優先順位付け等）についてどのような方針に基づいて実施してゆこうとしているか。

**問題意識**：I T 化推進本部を中心に、全庁にわたるシステムの再構築の具体的な方針、目標を設定すべき、業務コンサル+システムコンサルのノウハウが必要となる。

- 3) 情報システム構築プロジェクトの管理について現状の課題と今後の対応についてどのように考えているか。

**問題意識**：業者任せになっている情報システム構築プロジェクトを発注者である行政側で管理できるようにする必要がある。そのためにプロジェクト管理のノウハウを身につける必要がある

- 4) I T 担当者の配置状況はどのようになっているのか。各区、各局に配置されている I T 担当者の権限・役割、I T スキル（資格取得状況、I T にかかわる業務経歴、専門教育の状況）は把握できているか。I T 担当者の要員、配置状況について課題はあるか。

- 5) 今後の組織体制の見直しの方針についてどのように考えているか、今後の見直しスケジュールは。

**問題意識**：局、区を含めて I T 担当者の人材把握が必須。I T 担当者を行政運営調整局に集めて I T 推進担当として一元管理、各現場へは局からの派遣の形をとってはどうか。現有のスタッフで力不足がある場合は外部からの人材の登用等を検討する必要がある。

2. H18.12 からスタートした産業技術総合研究所からの技術支援について1年間の実績はどのようになっているのか

3. 平成19年度情報システム一覧について

- 1) 本リストで横浜市のすべての情報システムが網羅されていると考えてよいか。リストアップした基準は何か。(抜けているシステムがある、ex. 安全管理局安否確認システム、現在進行形の危機管理センターのシステム開発など)
- 2) 区のシステムについて、6区のみが掲載されているが他の区はどのように把握しているのか、そもそも区の使用しているシステムについてはどのように管理運用されているのか。
- 3) 「H19 電算関係予算」について  
システム構築にかかわる費用/保守費用を分けて把握したい  
ハードウェアに関するコスト/ソフトウェアに関するコストを分けて把握したい

《以下個別のシステムについて》

- 4) 7例規データベースシステム：8の文書管理システムとの関係は
- 5) 9、10 新人事給与システム：どのような内容のシステムか、他の局のシステムと統合できないか(水道局、交通局)
- 6) 15、16 庶務事務システム：どのような内容のシステムか、との区分は、将来の保守費用は
- 7) 22 連携システム：どのような内容のシステムか
- 8) 33、34 行政資料検索システム、行政文書検索システム：どのような内容のシステムか、文書管理システムとの一元化は可能か
- 9) 35 市民活動支援人材バンクシステム：どのような内容のシステムか
- 10) 36 公聴情報データベースシステム：どのような内容のシステムか
- 11) 39、40、81 市民利用施設予約システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 12) 49 国民健康保険料収納対策支援システム：どのような内容のシステムか
- 13) 52 横浜市リハビリテーション情報システム："
- 14) 60 栄養改善健康増進事業用システム："
- 15) 64、66 墓園管理システム：どのような内容のシステムか、2つのシステムは統合できないか
- 16) 65 斎場予約システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 17) 69 結核患者情報システム：どのような内容のシステムか
- 18) 76 大気・水質常時監視システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか

- 19) 85 排水設備システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 20) 92 産業廃棄物情報管理システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 21) 95 経済観光局統合データベース：どのような内容のシステムか
- 22) 98 計量検査システム：＼
- 23) 99 横浜市勤労者福祉共済OAシステム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 24) 104 都市計画情報提供システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか、都市計画図書縦覧システムとの関係
- 25) 122 横浜市リアルタイム地震防災システム：＼
- 26) 126 地震情報収集システム：どのような内容のシステムか、横浜市リアルタイム地震防災システムとの関係は
- 27) 128 横浜市教育情報ネットワークシステム：どのような内容のシステムか
- 28) 131 文化財情報利用システム：どのような内容のシステムか、古くなっていないか
- 29) 133 行政情報ネットワーク：どのような内容のシステムか、横浜市教育情報ネットワークシステムとの関係は
- 30) 134～139 選挙関係のシステム：そういう内容のシステムか、どのくらいのコストがかかるのか
- 31) 141 会議録検索システム：どのような内容のシステムか、行政資料検索システムとの関係は
- 32) 143、144 料金事務オンラインシステム：そういう内容のシステムか、今後のシステム移行の予定は
- 33) 148、152 人事給与システム：どのような内容のシステムか、統合化できないか、交通局のシステムの保守費用は

#### システムの点検のポイント

- ・ 機能として重複しているシステムがあるのではないかと、統合すべきシステムがあるのではないかと
- ・ そもそも使われていないシステムがあるのではないかと
- ・ 構築後時間がたっているシステムについては改修あるいは新規に作り直したほうがライフサイクルコストとして割安になるのではないかと

以上